

令和7年12月15日

事業報告

講座名	第5回「明日にきらめけ！維新アカデミー事業」 講師：山本 昇治 様（気象予報士）
日時・場所	令和7年12月14日（日）13:30～16:00 YMfg 維新セミナーパーク 101研修室
参加者数	31名 (岩国市1名、柳井市1名、平生町1名、光市4名、 下松市1名、山口市18名、宇部市2名、美祢市2名 山陽小野田市1名、) 学年別（小3:6名、小4:9名、小5:9名、 小6:4名、中1:2名、中2:1名）

1 概要

本事業は、県内の小中学生（小3から中3）を対象として、下記を目的とし、12月14日（日）に実施した。

＜目的＞

県内の専門的分野で活躍している憧れの大人との協働的な学びにより、ふるさと山口への誇りと愛着を高めるとともに、子どもたちの目指す目標に向けて志を高め、自らのキャリアを構築する力を育成する。

（1）講話＆ワークショップ（13:30～16:10）

今回の講座は、講師の山本昇治さんの意向で、講話とワークショップを一体化させて実施した。

最初に天気予報の重要性についてわかりやすく解説することにより、天気予報を大変身近に感じることができた。次に、天気予報をする上で重要な情報である「雲」に焦点を当て、実験や工作に取り組んだ。ペットボトルを使った雲を作る実験では、その仕組みを理解しながら何度も挑戦するなど、皆が大変意欲的に取り組んでいた。また、雲図鑑の工作では、10種類に分類した雲の解説を聞き、それぞれの特徴などを理解しながら取り組んでいた。自分で作った雲図鑑は、雲を理解するうえでも大変貴重な体験になったと感じた。

次に、天気キャスターを体験する「天気予報に挑戦」を行った。あらかじめ準備されていた原稿に自分なりのアレンジを加え、全員の前で希望者が挑戦するという形態で実施したが、予想以上に希望者が多く、参加者の積極性に驚くほどであった。

最後に、持参されたアメダスの模型を、参加者・保護者が実際に近くで見ながら解説を聞くという、大変貴重な経験ができ



た。転倒枠形雨量計の実物を見ることができ、参加者が大変興味深く観察する様子が大変印象的であった。



(2) 振り返り（事後アンケートより抜粋）

- ・わかりやすい説明でした。将来の夢は実はアナウンサーです。とてもお手本になりました。（小3）
- ・雲のことや空のひみつを知れてとてもうれしかったし、楽しかったです。（小3）
- ・とてもわかりやすい説明で、何もかも楽しかったです。気象予報士ってかっこいいなーと思いました。（小4）
- ・もっと天気キャスターがしたかったです。うろこ雲とひつじ雲の違いを知りたいです。（小5）
- ・天気のことがとってもわかりやすく、雲などの種類もたくさん教えてください、ありがとうございました。（小6）
- ・転倒枠形雨量計を実際に見れてびっくりした。貴重な体験ができた。（中1）
- ・私が小6くらいの頃の将来の夢は気象予報士です。憧れの山本さんの講義を聞けて良かったです。今、将来の夢ははっきり決まっていませんが、いろいろな選択を考えてみたいです。（中2）